



～自ら挑み、「高める」「つながる」「のり越える」子を目指して～

1学期の学習のまとめを ～授業も宿題も大切にして～

いよいよ1学期最後の7月です。7月は学習におけるまとめの時期です。これまで子どもたちは積極的に授業に参加し、挙手をして自分の考えを発表したり、友達と考えを伝え合い学びを深めたりしてきました。

先日、5・6年生が東大セミナーの川本雄介先生による「深い学び講座」の特別授業を受けました。その授業の中で、川本先生は、次のように子どもたちに話してくださいました。

「勉強とは、『分からない』を『できる』にすること。

学校の授業では、『分からない』を『分かる』に変えること。

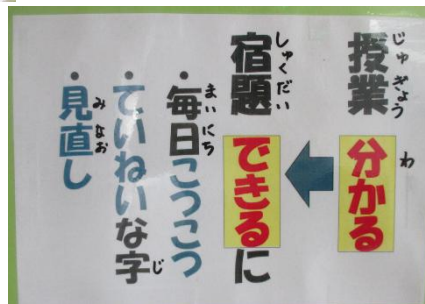
復習することは、自分で『分かる』を『できる』に変えることだ。」

どんなに授業で分かるようになったとしても、時間が経つにつれ、内容を忘れてしまいます。しかし、毎日こつこつ短い時間でも授業の内容を見直したり復習したりすれば、その内容は忘れにくくなります。だから、復習となる宿題をすることで、授業で「分かる」ようになったことを「できる」に変えてくれるというのは納得がいきますね。それだけ宿題は大切で、毎日出される意義があるといえます。これからも、宿題を①毎日こつこつと ②丁寧な字で ③見直しをすることを意識して続けていってほしいです。

「悲しみ」は気分であり、「楽しみ」は意志である。楽しむためには勉強が必要。



東大セミナー 川本先生



いろいろな学びや活躍をご紹介！



県民移動能 宝達志水町公演

6月25日（木）に能や狂言を鑑賞したり体験したりする機会がありました。県内を順にまわっているのです、今回は数年に1度の機会だったそうです。5・6年生が押水小の同学年の子たちと一緒に貴重な体験をし、教科書に載っている狂言「柿山伏」や能「羽衣」を鑑賞しました。

2年図工 新聞大変身



4年社会科 クリンクル羽咋 見学



5年家庭科 裁縫の練習

